

# 仕 様 書

1. 件 名 館内清掃業務委託

2. 場 所 東金市外三市町環境クリーンセンター

3. 業務期間 契約締結日の翌日から令和7年12月26日まで

## 4. 業務の内容

### (1) 窓ガラス清掃

#### ア 清掃箇所【添付図面①参照】

施設外壁の1階から5階までの全窓ガラス内・外面及び見学者用通路窓ガラス

#### イ 面積

高所作業車必要 414.5m<sup>2</sup>

高所作業車必要なし 107.5m<sup>2</sup>

#### ウ 実施方法

水で、汚れ及びごみ等を除去し、洗剤を使用しむらなく仕上げる。また、ガラス内側面については洗浄水が床等に落ちないように注意し、落ちた場合には直ちに拭き取る。ガラス外側面で高所となる箇所では、高所作業車を使用し危険防止には十分留意して清掃を実施すること。

### (2) 通路剥離洗浄

#### ア 清掃箇所【添付図面②参照】

1階から2階への階段、2階通路の一部、4階通路の一部

#### イ 面積（階段部分を除く）

計 約216.4m<sup>2</sup>

#### ウ 実施方法【添付参考写真参照】

ビニール床面を剥離洗浄し、水拭きの上ワックスを塗布すること。  
作業を実施した翌日には歩行に支障がない状態にすること。

## 5. 実施日時

- (1) 実施日時については、平日の18時以降、休日（土曜日、日曜日または国民の祝日）を主とし、必要に応じ発注者と協議し決定する。
- (2) 休日、夜間の作業においても、施設運転委託職員は常時勤務していることを考慮し、歩行等に支障のないよう配慮し作業すること。休日であっても場内はごみ収集車及び工事車両等が通行している場合があるため、委託者の指示に従い通行に支障のないように作業すること。

## 6. 現場体制

- (1) 受注者は、技術及び経験を有する代理人を現場に常駐させ、所定の業務に従事させること。
- (2) 受注者は、適正な作業の推進を図るために十分な数の作業員を配置し熟練を要する作業には相当の経験を有するものを配置しなければならない。また、資格を要する機械を用いて行う作業について

ては、有資格者がこれを扱うものとする。

## 7. 業務計画書

- (1) 受注者は、本委託の実施にあたり、作業内容、手順、作業方法、安全対策などについての業務計画書を監督員に提出し、これを遵守し業務の履行に当たらなければならない。
- (2) 業務計画書には次の事項について記載しなければならない。

ア 業務概要

イ 計画工程表

ウ 現場組織表

エ 緊急時の体制及び対応

オ 安全管理

カ その他必要事項

## 8. 権利義務の譲渡等の禁止

受注者は、委託業務に係る契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは承継させ、又はその権利を担保の目的に供することができない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りでない。

## 9. 再委託の禁止

- (1) 受注者の再委託は禁止するものとする。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。
- (2) 受注者がやむを得ず第三者に再委託を行う場合、再委託先に本委託業務に係る契約に基づく一切の義務を遵守させるとともに、発注者に対しての責任も負わせるものとする。

## 10. 保安設備の設置及び現場管理

- (1) 作業中の安全対策にあつては、現場環境に対応した十分な保安設備を施すこと。
- (2) 現場内の整理、その他現場管理には細心の注意を払うこと。
- (3) 現場内の作業用車両の通行に際しては、第三者等に十分な注意を払うこと。
- (4) 受注者が、監督員の指示に反して作業を続行した場合には、監督員は作業一時中止を命ずることができるものとする。
- (5) 作業終了時においては、速やかに使用機器等を搬出するとともに、作業現場付近を十分に清掃及び整理整頓すること。

## 11. 作業員の安全管理

- (1) 作業中は、ヘルメットや防護めがね等を着用するなど、十分な事故の防止及び作業員の安全を図ること。
- (2) 作業に使用する機材は、常に点検し、安全な整備をしておくこと。
- (3) 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)に準拠し、十分な事故の防止及び安全の徹底を図ること。
- (4) 万一事故が発生したときは、緊急連絡体制に従い、直ちに監督員及び関係官公庁等に報告すると

ともに、速やかに必要な措置をとること。

## 1 2. 完了検査

(1) 受注者は、業務を完了したときは、下記に掲げる書類を発注者に提出しなければならない。

ア 業務完了報告書

イ 委託写真（作業前、作業中、完了）

ウ その他発注者が必要と認めた書類

(2) 受注者は、検査を受ける際には、受注者又は代理人が必ず立ち会うものとする。

(3) 受注者は、検査に必要な図書などについて、発注者の指示に従わなければならない。

(4) 検査は、受注者の提出した委託写真等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には、再度業務を行うこと。なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

## 1 3. 委託料金の支払い

委託料金の支払いは、業務完了後に本仕様書 1 2 の「完了検査」を受け承認を受けたうえで委託料の請求を行うものとする。

## 1 4. 損害賠償及び補償

(1) 受注者は、故意又は過失により発注者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、発注者がやむを得ないと認めた場合は、この限りでない。

(2) 受注者の責めに帰すべき事由により、受注者が第三者へ損害を与えたときは、直ちに監督員に報告するとともに、受注者はその損害を賠償しなければならない。

## 1 5. その他

作業にあたっては、衛生上及び火気の取締りに注意するとともに、次の事項に十分注意すること。

(1) 清掃用具の取扱いによる衝撃または、湿気等により、機械器具設備、備品等を損傷させないように注意すること。

(2) 引火性のある薬品は、許可なく使用しないこと。

(3) 水道を使用する場合は、極力、節約につとめるとともに、機器・設備等に飛散させないこと。

(4) 清掃排水は施設内の適切な排水場所に排水すること。

(5) その他この仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めることとする。